



緑小だより

平成27年11月2日

墨田区立緑小学校
校長 保坂 登

<http://members2.icom.home.ne.jp/midorisho-sumida/>

机に向かう習慣を

校長 保坂 登

放課後すみだ塾では、3年生以上で単元テストが70点未満の子供は再テストをしています。よって、アイチェック調査の「間違えた問題をやり直していますか」は、全国平均よりよい結果となっています。一方、「家庭学習の時間・内容を決めていますか」は全国平均を下回っています。人間の記憶力は、教わった直後を100とすると、日に日に75→50と忘れます。子供の吸収力はすごいです。忘れるのも早いです。そこで、確かな学力を育むために「家庭学習のしおり」を低・中・高学年別に作成しました。家庭学習の第一歩は、

- ① やるべきことが決まっている。 ☆月初めに「しおり」の空欄に書き入れます。
- ② 机の上を何も無い状況にします。その後、関係するものだけ出します。
- ③ 1行だけ読もう、1行だけ書こうと決めて勉強します。

☆初めは「1行だけ読んで終わり！」から始めて大丈夫です。

- ④ ○○分やったら、机から離れる。 初めは○○分×2分割でも良いです。

☆1年生は初め20分を目安に始めます。10分×2でも良いし、続けて20分でも良いです。家庭学習の時間は、個人差がありますので目安にしてください。

また、宿題＝家庭学習ではありません。家庭学習＝宿題＋自主学習と考えます。先生に丸を付けてもらうものだけが家庭学習ではありません。そこで、子供により発達が異なるので、自主学習の部分を①「しおり」の空欄に書かせることにしました。今年の芥川賞、羽田圭介さんは小学5年生の時に、母から天声人語を要約する自主学習を与えられ、初めは写経のようにほとんど書き写しだったものが、約2ヶ月で半分、三分の一、四・五行まで要約できるようになったそうです。自分に文才があると勘違いした少年は、高3で文芸賞、30才で芥川賞を獲得します。

人間はいろいろ、百人いれば百通りの生き方があります。その一人一人の生き方を実現するために学びます。だけれど、その一歩、その一行に踏み出せない子供も多くいます。「家庭学習のしおり」がそれを後押しできたらと考えます。

※今年の学芸会スローガン（代表委員会を中心に、全クラスの意見をまとめました。）

『緑小に最高の笑顔を』

お願い：ご一緒にセリフ練習をしていただき、劇の世界を楽しんでください。

2年生の様子

2年学年主任 江幡 みき

10月2日生活科見学で、上野動物園に行ってきました。前日から雨の予報で天気が心配でしたが、雨もやみ予定通り上野動物園に行くことができました。

動物園では1年生とペアになり、クイズラリーをしました。普段はあまりじっくり見ることのない動物のしっぽの長さや足のかたち、体の模様などをよく見てクイズに答えていました。シマウマのおしりの模様はどれかを答えるクイズでは、なかなかおしりを見せてくれなくて大変だったという場面もありましたが、初めて知ったことも多かったようで子供たちもとても喜んでいました。また一緒に回った1年生に優しく声をかけたり、親切にしたりとお兄さんお姉さんとしての意識も生まれてきていました。これからも下級生を気遣う優しい気持ち大切にしたいと思います。

いよいよ学芸会が近づいてきました。練習にも力が入り、皆真剣に頑張っています。本番まで、みんながどれだけ成長するのか楽しみです。一人一人が立てた目標が達成できるよう励ましながら、取り組んでいきたいと思っています。

演劇教室

児童文化担当 道萱 華恵

10月16日、演劇鑑賞教室がありました。今年は、劇団芸優座による、「一休さん」という劇を鑑賞しました。楽しいだけでなく、感動する場面もある「家族の絆」をテーマにした劇で、みんな大笑いしたり、思わず驚きの声を上げたり、涙ぐんだり、夢中になって鑑賞していました。

今年は、学芸会があります。そのため、見方がいつもと違い、プロの人たちの迫真の演技の仕方に注目し、「自分もあんな演技ができるようになりたい」という思いをもった児童も多かったです。一部ですが、児童からの感想を紹介します。

～各学年の感想より～

- （1年）おくばあのかおに、黒いものを本当にぬってびっくりしました。すごかったです。
- （2年）一休さんとお母さんがさいかいしたとき、かんどうしました。
- （3年）わたしたちも、一休さんの役をえんじた人たちみたいに、みんなを笑わせたり感動させたりする劇がしたいと思いました。
- （4年）一人一人が役の人になりきっていました。一休さんが、知恵をしぼって家族を守っている場面が感動しました。
- （5年）演技と思えないぐらい自然な雰囲気ですごくいいと思いました。私たちも、自然な演技ができるようになりたいです。
- （6年）登場人物の心情に合わせて声の高低差をつけたり、言い方を変えたりしていて、迫力がありました。最後、とても感動して泣いてしまいました。
- （みどり学級）おもしろすぎて、わらいがとまりませんでした。

社会科見学

学年主任 戸部陽子

10月6日に、3年生は社会科見学に行きました。今年はバスに乗って、荒川水門、墨田区役所（防災センター）、東京都慰霊堂・復興記念館の4か所を見学しました。

【荒川水門】

洪水を止める役目をする水門の大きさに驚きました。隣接する荒川知水資料館では、水門や荒川がどのように作られたか、模型で分かりやすく解説されていました。墨田区各地の洪水シミュレーターでは、よく知る場所が水に埋もれていき、みんなびっくり！しました。

【区役所防災センター】

災害時、適切な指示を出すために、無線のテストは毎日行われています。実は、夕方のお知らせの曲は、無線を使ったテストだと知り、みんなで驚きました。総合的な学習の時間の学習で防災を学習した直後で、防災の知識の多さを役所の方にほめていただく一幕もありました。

【お昼ご飯】

区役所前の広場にて。ビル風も何のその、楽しくお弁当をいただきました。外で食べる開放的なお弁当に、会話が弾んでいました♪

【東京都慰霊堂】

東京大空襲、関東大震災で亡くなった方々のために建てられたことを知り、当時の遺品などを食い入るように見ている姿が印象的でした。

緑小の外国語活動

外国語活動主任 池田 満

緑小では、1年生から4年生まで年間4時間、5年生、6年生は年間50時間の英語活動をしています。英語の発音や簡単な表現をニーナ先生から学び、どの子も英語の活動を楽しみにしています。校内でHow are you? Very good 等の英語が自然と聞こえてきます。

外国語活動のねらいには、「英語の音声に慣れ親しむこと」「コミュニケーションの力をつけること」「他文化を理解すること」の3つがあります。

緑小では、この3つのねらいを達成するために、まずは、「日本語と英語の発音の違いを耳で慣れ、英語で発音してみること」たとえば、バナナとbanana、アップルとapple 普段から耳にするカタカナの言葉と英語での発音の違いに慣れていくことを小学校から学び中学校へつないでいきます。また、お互いの思いや考えを伝え合うために言葉だけでなく身振り手振りのジェスチャーも使って会話をしていく力を付けていく指導を展開しています。そして、何よりも「緑町、墨田区を愛すること」で自分自身を大切に、他を認め理解し、豊かな人間関係をつくっていく心と心をつなぐことを大きなねらいとしています。

いつか世界で活躍する緑の子を目指し外国語活動を推進しています。

行事予定 11月

*予定は変わることがあります。各学年の詳しい内容は学年便りをご覧ください。

日	曜	行 事
1	日	東京都教育の日
2	月	
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	土曜授業 ペア学年活動（奉仕活動）江戸しぐさ（5年出前授業）
8	日	
9	月	
10	火	すみだいじめ防止の日
11	水	安全指導 午前授業（区小研一斉研究授業日）
12	木	
13	金	学芸会（児童鑑賞日）
14	土	
15	日	学芸会（保護者鑑賞日）
16	月	振替休業日（11/15）
17	火	社会科見学4年生 長縄月間始
18	水	
19	木	
20	金	避難訓練 クラブ
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	すみだ区家庭の日
26	木	
27	金	委員会
28	土	
29	日	
30	月	

*NT
ネイティブ・ティチャー
主に火曜日、木曜日に
勤務しています。

*SC
スクールカウンセラー
が開室している日
（予約をどうぞ）原則
は、毎週火曜日と金曜
日に勤務しています。
希望する方は、SCに
ご連絡ください

※欠席連絡について・・・欠席する場合の連絡は、連絡帳をお願いします。